

# 問 避難行動要支援者登録の見直しを

答 介護認定度等で一律には扱わない



あべ こうし 議員

**問** 災害時に自力での避難が困難な避難行動要支援者。その数は、他市では数千人が本村は90人と極端に少ない。原子力災害では高齢者や障がい者、乳幼児などの要配慮者（要支援者を含む）の多くが自助努力での避難は困難。名簿登録者の見直しをしては。

**答** 本村では介護の認定度などで一律に対象者とはせず、多方面からの情報で状況を把握して真に支援が必要な方を名簿登録している。民生委員や自治会に加えケアマネジャーなどの福

村内要配慮者数（令和5年5月1日現在）	
高齢者（65歳以上）	9617人
身体障がい者	961人（※28人）
知的障がい者	337人（※4人）
精神障がい者	280人（※3人）
乳幼児・未就学児童	1733人
児童・生徒	3307人
外国人	403人
数に重複あり ※印は名簿登録者数	
避難行動要支援者名簿登録者数 90人	
（65歳以上で要介護3以上は19人）	

村内要配慮者数等との比較  
（地域福祉課の資料から）

**問** 避難バスや福祉車両等の必要数と現在準備できている台数は。

**答** 県は、県バス協会、県ハイヤー・タクシークomite、県内社会福祉協議会が保有する車両数を把握中。協定締結には至っていない。

社専門職から情報をいただくとともに、不安を抱える本人からの相談を常時受けてとりこぼれのないよう努める。

**問** 避難バスや福祉車両の必要台数は

**答** 県バス協会等との協定締結はまだ

## 東海村議会

# 取手市の被災者支援に寄付しました

令和5年6月2日に発生した台風2号により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。村議会では、取手市内の災害復旧事業・被災者支援事業等に活用していただくため、議会議員全員の総意により、令和5年7月4日（火）に支援金として10万円を取手市議会に寄付しました。

議員一同、被災地の早期の復旧、復興を心より願っております。



（左から）寺門定範議員、大内則夫議員、取手市議会 金澤克仁議長